

ちかこ だより

第2号 2019.3

子ども □ 笑顔 □ 地域力 □



ダンス&パフォーマーフェスティバル 池袋西口公園
池袋西口公園で毎年開催している「ダンス&パフォーマーフェスティバル」。親子で練習し、一緒にステージ衣装もつくるので発表会の感動も倍増です！(Wa-shoi)

親子DEダンス教室 (Wa-shoi)

「これからの地域活動を区民のみならず共に考えるニュースレター」ちかこだより第2号の特集テーマは、「子ども」です。

「子どもに笑顔が 地域力だ」「子どもに 笑顔の地域力」：「子どもに笑顔を 地域力だ」：子どもたちと関わる活動をしている9つの市民団体が集まって、熱く意見を交わしました。

現代の子どもを取り巻く環境の変化とは？

森(司会)：日頃の活動のなかで感じている問題をそれぞれ話してください。

芝崎：NPO法人Wa-shoiは、3才から中学生くらいまでの子どもと母親と一緒に踊る「親子ダンス教室」を豊島区でやっています。子どもにダンスを習わせるというのと、何が違うのか？ それはふだん子どもに「なぜできないの？」と上から目線になっている親よりも、子どものほうが覚えが早い(笑)、子どものすごさに親が気分がいいんです。家に帰って一緒に練習したり、ステージ衣装を手作りしたり、発表会のステージに立つという目標を共有することで、大人の意識も変わります。親と子と同じ振り付けで踊るといのは、家族の絆を深めることになるので、

これからは男親にもぜひ加わって欲しいと思っています。

森：それはぜひ来年、社会貢献活動見本市で体験コーナーやパフォーマンスをお願いします。

飯島：リぷりんとフレンズ・としまは65才以上の高齢者中心のグループで、東京都健康長寿医療センターの指導で、認知症予防になると絵本の読み聞かせの活動をはじめました。「リぷりん」とは焼き直す、復活させるという意味で、子どもたちのいる場所まで出かけていき、声を出して本を読むということが自分自身の健康にもつながっているんです。

地域の子どもたちが育っていくのを、読み聞かせを通じてみられる喜びと、「近所に絵本を読んでもくれたおばあちゃんがいなあ」と存在を知ってもらって、地域の高齢者にも温かい目をいただけたら、WIN-WINの関係になれるということですね。

森：絵本の読み聞かせと紙芝居では共通点がありますか？

高井：はい、「コラボしたこともありませんね。私は「紙芝居のおじさん」として4年前に活動をはじめ、気づいたら年間100公演です。

活動していて感じたのは、いじめやひきこもり、DVといった問題がすぐ身近にあること。なので今年JAMESの紙芝居では人として大切なことを紙芝居で伝えたい、いま聖書をベースにした友達や家族のお話をつくっています。(次ページに続く)


地域活動交流告知ボード

お知らせ

NPO法人 Wa-shoi

ダンスが中学・高校の体育授業必須科目になったことからダンス振興活動のNPO法人を設立、「親子DEダンス教室」を開催し、毎年「ダンス&パフォーマーフェスティバル」(池袋西口公園)で練習の成果を発表しています。その他、区民ひろば・学校・保育園・障害者施設等でダンスワークショップを開催しています。(担当/芝崎)

ホームページ：npowa-shoi.jimdo.com
メール：wa-shoi@outlook.jp



お知らせ

りぷりんとフレンズとしま

シニアの絵本の読み聞かせをするボランティアグループです。「大人と子どもが地域でつながる」異世代間交流でよい絵本を子どもたちに読み、私達は子どもたちからエネルギーをいただいております。

活動場所は区民ひろば、保育園、区立幼稚園、小学校、放課後子ども教室、シニアの施設等(担当/飯島)

電話：03-3952-9201
メール：yasue-gs@ezweb.ne.jp、Yasue.i.gs1972@mbr.nifty.com

携帯：080-4077-7011

仲間募集

JAMESの紙芝居

日本独自の文化「紙芝居」は10分足らずで観客をひきこむ不思議な力をもっています。豊島区内の公園や保育園、病院などで、紙芝居を通して、子どもたちや高齢者を元気にする活動に参加しませんか？

紙芝居の小道づくり、声の出し方、間のとり方など演じ方を学ぶ「紙芝居研究会」も毎月行っています。やってみたい方年齢性別不問、ご連絡をお待ちしています。(担当/高井)

携帯：080-4077-7011

参加者募集

AneママグループTOMATO

「子どもの笑顔はママの笑顔から」をモットーに、自分たちの子育て経験を活かし、次世代のママたちが少しでも快適に楽しく笑顔で子育てをできるよう、講座やワークショップを企画・運営しています。(担当/白根)

ホームページ：anemamagrouptomato.wixsite.com/mama
メール：anemama.tomato@gmail.com



お知らせ

NPO法人 あおぞらスクール

「あおぞらスクール」は幼児～中・高校生を対象に、年間を通じて遠足やキャンプ、職業体験など、年齢に応じたプログラムを行っています。設立当初の10年前とは子どもたちを取り巻く環境が大きく変化していますが、これからの子どもたちの未来を見据えて活動していきたいと思っています。(担当/國府田)

Facebookページ：www.facebook.com/NPO-法人-あおぞら-スクール
NPO/NPO-法人-あおぞら-スクール
-271015366725877/
※活動のお問合せはメールか携帯にて。
メール：aozora.07111821@gmail.com
携帯：080-5460-1081 こうだまで

お知らせ

NPO法人 ささえ手

2010年から活動を始めて10年目。《安心して暮らせる地域を広げ、次世代につなげる》ことをミッションとして活動してきました。小学生向けのまちあるき、安心マップづくりの手伝いや、シニア層との交流サロン、防災・防犯のまちづくり(空き缶コンロクッキング、消火栓マップ)など、活動は多岐に渡ります。ミッションをクリアして燃え尽きる惑星探査機【はやぶさ】のような団体です。(担当/田中)

ホームページ：www.sasaete.com
メール：sasaete@gmail.com



お知らせ

NPO法人 SEPY倶楽部

不登校・ひきこもり・発達障害等、子どもの心の問題で悩んでいる親御さんのサポートができたらと活動しているボランティア団体です。毎月第3土曜日17:00～「家族の会」、第4金曜日10:30～「親の会」を開催しています。詳しくは下記までお問い合わせください。(担当/千葉)

電話：03-3942-5006
(火～土10:30～15:30)

仲間募集

NPO法人 青い空ー子ども・人権・非暴力

どんな人も人は生まれながらにして、かけがえのない大切な一人。心と身体を傷つけられていい人はいません。私たちはそんな想いととも、予防啓発活動をしています。いじめ、誘拐、性暴力、虐待など子どもがあらゆる暴力から身を守るための人権教育プログラム「CAP(キャップ)子どもへの暴力防止」の活動実績はもうすぐ25年。仲間になりませんか？(担当/浜)

ホームページ：www.npo-aoisora.net
facebook：www.facebook.com/aoisora.npo
メール：npoaoisora@gmail.com

お知らせ

NPO法人 豊島子ども WAKUWAKUネットワーク

地域の子どもを地域で見守り育てるために、地域住民が主体となって設立したNPOです。遊びサポート、学びサポート、暮らしサポートの3本柱で子どもを包括的に支援しています。(担当/栗林)

ホームページ：toshimawakuwaku.com
メール：info@toshimawakuwaku.com




ちかこだより 第2号 発行日 2019年3月25日
発行者 豊島区地域活動交流センター運営協議会
〒171-0021 東京都豊島区西池袋2-37-4 としま産業振興プラザ4階
<http://npsc-toshima.sakura.ne.jp/>



地域活動交流センターの最新情報はこちらから



子育て中のママのためのワークショップ (Aneマ)

國府田… **NPO法人あおぞらスクール**は青少年の体づくりをベースに約10年活動してきました。

子どもの本質は変わっていないけれど、世代間の常識の格差がすごく広がって、自分の子育て経験が参考にならないと感じています。

芝崎…今は母親も働きなさいという時代ですから、お母さんたちはものすごく忙しくなっていますよね。その点でも親子ダンス教室は親子関係のリフレッシュになって、虐待予防につながっていると感じます。

それから平日の日中に、地域から大人がいなくなっているということがすごく気になっています。

飯島…高齢者はいるんだから、リタイアしたけど元気な高齢者をもっと使ってくれていいですよ。読み聞かせでお互い顔見知りになつていれば、注意もできますね。

田中…子どもや高齢者が安心して暮らせる地域は誰もが暮らしやすい地域だと思います。**NPO法人ささ**

と、それが辛かったと認識できたか、そのとき誰かとお会い、誰かにその話ができただかといわれています。必ず連鎖すると思いが込みをなくすことや、子どもの気持ちを共感的に聴けるおとなを増やすことも、私たちの活動の柱です。

森…確かに日本は人権意識が低いといわれ、企業活動でもハラスメントの問題が取り上げられており、大きな組織では取り組みが始まっていますが、プライベートの領域である家族のなかではまだ手付かずだといえると思います。

浜…その点、豊島区には、子どもを尊重し、大人は寄り添いますよとあった「子どもの権利に関する条例」があり、子どもを主体とした子ども観を宣言しています。地域で子どもに関わるすべての大人に、もっと周知して欲しいですね。

子どもは世界共通の課題 皆で知見の共有を進めよう

荒砥…**NPO法人豊島子どもWAKU WAKUネットワーク**では、プレーパークや子ども食堂、学習支援のほか、困難を抱えているご家庭への訪問支援に力を入れています。「ホームスタート」というイギリス発祥の活動で、我々がこの活動を始めて2年が経ちました。他地区の活動がマスコミで紹介され、問い合わせが増えています。

1週間に2時間、4回程度、ピジターさんと呼ばれるボランティアが

え手は、地域で子どもを守るといふ観点で「安心安全マップづくり」を提案したいと思っています。

森…地域の高齢者にどう活躍してもらおうか、若いパパとママにどう地域活動に出てきてもらおうかという2つが、大きな課題になりそうです。

芝崎…日曜に「区民ひろば」を開けるようになってから、パパがお子さんを連れてくることは多くなっています。職員さんが少ないのでイベント企画は平日にしかできないというのがもったいないです。日曜日によればもっと輪が広がりそうです。

困難を抱えている親へのサポートが重要

森…世の中がなんとなく変わってきている、変わった形に活動も対応していかなければなりませんね。**倉又**…私たち**NPO法人SEPPY倶楽部**は、不登校やひきこもり、発達障害など子どもの心の問題で悩んでいる親御さんを支援しているボランティア団体です。

子どもといつても成人している人もいるグループで、親への支援を中心に活動しています。

白根…**AneママグループTOMATO**は、自分たちの経験を活かし、産前産後の



CAPワークショップ(青い空-子ども・人権・非暴力)

新米ママたちにもっと情報を提供したいと、ママたちをケアする講座やワークショップを開催しています。私たちが実感しているのは「母親の笑顔が子どもの笑顔をつくっている」ということ。子育てに行き詰まらないためには、子どもと離れて自分の時間ももてるのが大事なのですが、託児所に預けられなかったお母さんが行き詰まっています。

倉又…そうですね、仕事を持っていての女性よりも、子どもとずっと一緒にいる専業主婦の方が追い詰まられることが多いです。千円以内で確実に役立つ情報を得てきてもらい、リフレッシュしてもらおうということとを心がけて企画しています。

森…今、虐待問題が大きく報道されていますが、確かに原因のひとつがそこにあると思いますね。**白根**…はい、女性も働けと追い詰めるのではなく、働かない3年間があつていい、子育てに専念中です！と胸を張れる社会になったらいいなと思っています。

倉又…お母さんがイライラしなければ、子どもも落ち着きます。家の雰囲気をつくりだす、鍵を握る

森…相互に連携して取り組むと前進しそうな課題も上がってきていますね。子どもの問題には、孤立している親が多い、どこに相談しに行つていいかわからないという問題も大きいとわかりました。

倉又…今はいろいろな行政サービスも用意されていますが、自分からは出てこれないという親も多いものです。こちら側から家庭を訪問するというのはいいいですね。

白根…私はスウェーデン発祥の「ボジティブディプリン」という叩かない教育というのを勉強しました。豊島区でも普及させようと無料講座を実施しています。

倉又…子どもを叱りつけると脳の一部が変形するという研究結果もありましたね。10〜20年たった時に影響が出る可能性がある。

浜…厚労省のHPで「愛の鞭ゼロ作戦」パンフレットがダウンロードで

ているのは母親。私たちの団体では親たちに、自律訓練法といって、深い呼吸で心を落ち着ける方法を機会あるごとに学んでもらっています。

深呼吸をして静かな時間をもつことが、どうして問題解決になるんだろつと、私も最初は疑問に思ったのですが、カウンセラーの先生が自律訓練法を教えてください。

白根…いいと思います。私たちもまさに「椅子ヨガ」講座を企画して心と体を整える呼吸法も学ぼうとしているところです。

森…怒りを沈める「アンガーコントロール」を知ることが、暴力のコントロールにもつながると思います。

子どもへの暴力や虐待防止のために社会が変わらなければならぬ

浜…暴力は100%する側が悪いのですが、受けた側も悪いところがあつたのでは？と責めてしまうと、さらに子どもが傷つく。「暴力を受けていい人は1人もいない。あなたは大切な人だよ」と伝えています。

NPO法人青い空-子ども・人権・非暴力では、子どもたちが、いじめ、誘拐、性暴力、虐待などあらゆる暴力から自分を守るための人権教育プログラム・CAP(キャップ)を実施しています。

私たちは、暴力を容認する社会構造が変わらなければ、問題は解決しないと考えます。たとえば体罰を悪いことだとは思っていない大人が、

き、そんな脳の画像も入っていますね。

白根…自分が子どもを叩かない、怒らない。では代わりに、何をしたらいいかという情報が足りていないなあど気づいたんです。気晴らしをしたり、自分の怒りを沈めるのはその場面だけを見ている対症療法のようなもので、さらにその先が必要かなと。子どもにボジティブな声を表したり、子どもが自分の気持ちを表現する力を育てる活動にも、つながっていかなくてはいけないなと感じているところです。

倉又…よくできた子どもが社会に出た途端に引きこもりになるというのはそういう「自分を表現してこなかった」という可能性が有りますね。

森…自分の気持ちや意見を、相手の気持ちも尊重しながら、対等に表現する力を育てる「アサーティブネス」活動にも通じるものがありますね。

まだ多いですよ。しつければ支配もコントロールも必要ないのですが、そやって育てられたから自分は立派になったと思っている大人の方もいて、暴力が受け継がれていく。そのような方たちの人生を否定せず、暴力は必要ないということに気づいてもらうということが、とても難しいです。

倉又…CAPは全国的に活動しています。

浜…野田市の虐待事件はDVが絡んでいました。DVはする側の意識の中に旧い家制度のなごりが影響していることがあります。夫婦は結婚して新しい戸籍を作るのであつて、相手の家に入るのではないけれど、名字が夫姓を選ぶ夫婦が多く、妻を自分の支配下に置いていいと勘違いするんです。子どもは親の所有物ではないのに、無理心中で道連れにするということが起こるのも日本特有の虐待といえます。子どもは親とは別個の人格だとわかれば、そんな考え方にはならないと思うんですが。

倉又…自分は虐待されて育ったから子どもには絶対にそんなことはしたくないと思つても、カッとなつてしまつと同じことをしてしまつたと、そのお母さんはものすごく精神的に落ち込むわけです。虐待の連鎖が起こるとい話が出ます。

浜…虐待が連鎖するかどうかは、ある調査によると五分五分であつて必ずしも連鎖はしないといわれています。なにが分岐点になるかという



よみきかせの会(りぶりんど)

白根…子育ての悩みつて皆、自分の子が時期を過ぎればどうつてことないと忘れてしまいがちじゃないですか。そういうところを通り過ぎずに、ひとつひとつ立ち止まってい、お母さんの縦の世代のつながりで解決できることがあるのではないかと思っています。

森…そのような意識を共有するために、ここに集まっている団体が一緒にそういうトレーニングを受けられる機会が持てたらいいですね。

高井…おたがいの活動を詳しく知るために、もっと活動現場に出かけるようにもしたいですね。

地域活動交流センター紹介

地域活動交流センターとは

「としま産業振興プラザ (IKE-Biz)」4階、地域活動に興味がある方ならどなたでも利用できる「情報収集や交流のためのスペース」です。地域活動に関するイベント等のチラシが収集できたり、随時無料のミニセミナーなども開催されています。



団体登録のすすめ

登録団体は、作業コーナーや会議室(予約制)が利用できます。また、登録団体の皆様と「運営協議会」を組織し、定例会で施設の利用や運営方法を検討しています。その中で他の団体の人と知り合えたり、活動に必要なネットワークづくりも行つていただけます。

団体登録の要件

1. 公益性のある活動であること
2. 区内で活動を継続していること
3. 区内のNPO法人、または構成員4名以上のうち、区内在住・在勤・在学者が2名以上の団体
4. 特定の政治活動、宗教活動を行う団体ではないこと
5. 営利を主目的とした団体ではないこと
6. 定款・会則等があり、会計の処理が適正になされていること
7. センターの運営や事業に協力すること

登録申請窓口

区民部 区民活動推進課
協働推進グループ TEL 03-4566-2314
(豊島区南池袋 2-45-1 区庁舎 6階 13番窓口)